

公益財団法人まちみらい千代田  
第10期第1回評議員会 議事録

1 日時

令和4年8月24日(水)午前10時～午前11時45分

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 5階会議室

上記の開催場所に存しない評議員は、当法人所定のウェブ会議システムを用いて評議員会に出席した。

3 評議員現在数

9名

4 出席者

(1) 評議員(8名)

鈴木潔(会長)、鎌倉勤(副会長)、親泊哲、熊谷エイ、高橋陽子、高山肇、谷真理子、脇宗一郎

[欠席者] 山本久喜

(2) 理事(1名)

保科彰吾(理事長)

(3) 監事(2名)

大矢栄一、渡邊牧文

(4) 事務局(4名)

猿渡裕司事務局長、堀切俊秀グループマネージャー(以下GMという。)、加藤英明GM、  
本橋千佐子GM

5 議題

[決議事項]

(1) 議案第1号 公益財団法人まちみらい千代田 第9期事業報告(案)について

(2) 議案第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第9期決算(案)について

6 開会、理事長あいさつ、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、ウェブ会議システムにより、出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを事務局が確認した。また、配付資料の確認を行った。

定款第25条により、評議員会の議長を務める鈴木会長が開会を宣言し、保科理事長にあいさつを求

めた。保科理事長はあいさつの中で、第9期決算状況の概要について、報告を行った。保科理事長のあいさつに続き、定時評議員会にはじめて出席した大矢監事と猿渡事務局長があいさつを行った。

次に議長が本日の出席評議員について、事務局に報告を求めた。事務局から出席者と定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを報告し、議長が本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の熊谷評議員と協評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議案の審議に入った。

## 7 議事の経過及び結果

(1) 議案第1号 公益財団法人まちみらい千代田 第9期事業報告(案)について

(2) 議案第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第9期決算(案)について

議長から、議案第1号および議案第2号は関連があるため、一括上程し、審議を行いたい旨の提案があった。この提案に評議員は全員異議なく了承した。

はじめに、猿渡事務局長が第9期事業報告(案)の概要について説明を行った。その後、各GMから担当事業の詳細について、報告を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、堀切GMが報告を行った。

産業まちづくりグループの事業は、加藤GMが報告を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、本橋GMが報告を行った。

次に猿渡事務局長が、第9期決算(案)の財務状況や執行状況を報告した。

議案の審議に先立ち、渡邊監事から監査報告(令和4年7月8日)の結果について、決算資料が正確であり、また、理事の業務も適正に執行されている旨の報告が行われた。

なお、説明後に以下のような質疑や意見があった。

(評議員)

助成金やアドバイザーの派遣等の申請者は、どのような媒体を介してそれらの制度を知ったのか。また、まちみらい千代田が行う情報発信によって、そのことがどのように事業の利用に結びついているのか教えてほしい。

(事務局)

各事業において詳しい統計をとっていないが、一つの例として、「千代田まちづくりサポート」の応募者の過半数は「まちみらいニュース」を介して応募に至っている。本年6月にリニューアルした「まちみらいニュース」と今後リニューアルを検討している「ウェブサイト」の両方活用し、評議員の皆さんの意見も参考にしながら、今後の事業展開を図りたい。

(評議員)

再開発に関連する事業の進捗率が良くないとの報告があった。助成金を有効に活用しながら、イベントを開催するなどして、その土地の良さを認識してもらうような取り組みを行っている地域もある。ま

ちみらい千代田でもそのような方策を検討してみてはどうか。

(事務局)

再開発に対して千代田区、まちみらい千代田が直接助成する仕組みはない。千代田区は老朽化したマンションが多く、再開発でそのようなマンションの建替えが伴った場合に、まちづくりアドバイザーを派遣する制度をまちみらい千代田では設けている。エリアごとに再開発が行われる中で、千代田区とも情報交換をしながらマンション施策の中で助成制度等の充実を図りたい。

(評議員)

千代田区内では貸会議室が増加傾向にある。中小企業支援の「会議室の提供」では、貸出時間の低下により収益が減少しているが、改善に向けての対策は何かあるのか。また、大幅な収益の増加は見込めないが、地域との結びつきの観点から、オンライン等で規格外の野菜等を安価で提供することを検討してほしい。

(事務局)

ちよだプラットフォームスクウェアの会議室は、中小企業振興のために安価で提供しており、事業報告の中で申し上げたとおり、オンライン会議等の普及により利用率は低下している。しかし、会議室の収益は、まちみらい千代田の収入源の一つでもあるため、ほかの貸会議室とは違う付加価値をつけて利用率の増加を図りたいと考えている。

また、規格外の野菜等の販売については、まちみらい千代田が事業協力を行っている「ちよだ地方連携ネットワーク」の会議等で情報共有し、その取り組みについて検討する。

## 8 閉会

以上、本日のWeb会議システムを用いた本評議員会は、終始異常なく議案の審議を終了したので、午前11時45分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長および評議員がこれに署名、押印する。

令和4年8月24日

公益財団法人まちみらい千代田  
第10期第1回評議員会

議 長 鈴 木 潔 ⑩

議事録署名人 熊 谷 エ イ ⑩

議事録署名人 脇 宗 一 郎 ⑩